



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,800	15.7	851	46.9	1,098	40.3	1,200	28.9
23年3月期第1四半期	38,907	1.4	1,605	317.2	1,839	221.5	930	257.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,046百万円 (654.2%) 23年3月期第1四半期 271百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.60	—
23年3月期第1四半期	3.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	126,598	52,285	40.9
23年3月期	127,045	51,845	40.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 51,777百万円 23年3月期 51,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の配当金について、東日本大震災の影響を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、今後の見通しに一定の見極めが可能となりましたので、本資料にて公表いたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,000	10.5	3,100	20.6	3,300	21.2	2,500	13.7	9.59
通期	153,800	2.2	5,900	11.3	6,000	12.8	4,000	63.3	15.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の連結業績予想について、東日本大震災の影響を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、今後の見通しに一定の見極めが可能となりましたので、本資料にて公表いたします。詳細は添付資料3～4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
以外の会計方針の変更： 無
会計上の見積りの変更： 無
修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
期末自己株式数
期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	270,948,848 株	23年3月期	270,948,848 株
24年3月期1Q	10,177,098 株	23年3月期	10,171,605 株
24年3月期1Q	260,773,938 株	23年3月期1Q	261,156,551 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料3～4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が東日本大震災による影響及び株式譲渡した連結子会社の売上減少により、全体では328億円と前年同期実績に比べ61億7百万円(15.7%)の減収となりました。

また損益面では、東日本大震災の影響による売上高の減少により、営業利益は前年同期実績に比べ7億5千4百万円(46.9%)減益の8億5千1百万円、経常利益も前年同期実績に比べ7億4千1百万円(40.3%)減益の10億9千8百万円となりました。また、四半期純利益につきましては特別利益に係る会社株式売却益を計上したことにより、12億円と前年同期実績に比べ2億7千万円(28.9%)の増益となりました。

セグメントの第1四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子部門

菓子部門は、主力ブランドの「ダース」は新商品の売上が寄与したこともあり前年同期実績を上回り、「おっとと」は引き続き好調に推移しました。一方、東日本大震災による製造設備への損傷や原材料の調達不足等により生産が不安定となり、一部発売予定品を延期したことも影響して「ミルクキャラメル」「森永ビスケット」「チョコボール」「小枝」「ハイチュウ」は前年同期実績を下回りました。主力ブランド全体が前年同期実績を下回り、菓子部門全体の売上高も前年同期実績を下回りました。

食品部門

食品部門は、ココアが前年並みとなり、「ホットケーキミックス」が好調に推移したことで、食品部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

冷凍部門

冷凍部門は、主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」と「アイスボックス」が広告効果もあり前年同期実績を上回り、冷凍部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

健康部門

健康部門は、「天使の健康」シリーズの通販事業が堅調に推移しましたが、主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が原材料の需給状況が不安定なため、商品数の絞込みをおこなったことが大きく影響し、健康部門全体の売上高は前年同期実績を下回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は300億3千万円と前年同期実績に比べ9.0%減となりました。セグメント利益は6億9千1百万円と前年同期実績に比べ6億3千4百万円の減益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は、株式譲渡した連結子会社の売上高が減少し、事業全体で18億9千1百万円と前年同期実績に比べ61.8%減となりました。セグメント利益は4百万円と前年同期実績に比べて2千6百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

ゴルフ事業が前年同期実績を下回ったことにより、事業全体の売上高は7億5千6百万円と前年同期実績に比べ7.7%減となりました。セグメント利益は2億3千1百万円と前年同期実績に比べ8千1百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高1億2千2百万円、セグメント利益1千万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における総資産の残高は1,265億9千8百万円となり、前連結会計年度に比べ4億4千7百万円減少しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金の減少と商品及び製品の増加や固定資産の投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は743億1千3百万円となり、前連結会計年度に比べ8億8千6百万円減少しております。主な要因は、流動負債の短期借入金及び賞与引当金が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.5ポイント増加し40.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想について、東日本大震災の影響を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、今後の見通しに一定の見極めが可能となりましたので公表いたします。

第2四半期累計期間は、第1四半期における東日本大震災の影響や連結子会社の株式譲渡により売上高は減収を見込んでおります。損益につきましては、株式譲渡した連結子会社の影響は軽微であります。東日本大震災の影響により売上高が減少するため減益を予想しております。また、四半期純利益につきましては、関係会社株式売却益を特別利益に計上することにより増益を予想しております。

通期では、第3四半期以降、食料品製造事業を中心に積極的なマーケティングコスト投入により売上拡大を図ってまいりますが、株式譲渡した連結子会社の売上高減少の影響が大きく減収となる予想です。損益につきましては、第2四半期累計期間の減益の影響が大きく、通期でも減益を予想しております。当期純利益につきましては、関係会社株式売却益を特別利益に計上すること、前連結会計年度に東日本大震災による特別損失を計上したことで増益を予想しております。

以上により当連結会計年度の見通しにつきましては売上高 1,538 億円（前年同期比 2.2%減）、営業利益 59 億円（前年同期比 11.3%減）、経常利益 60 億円（前年同期比 12.8%減）、当期純利益 40 億円（前年同期比 63.3%増）を予想しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した高崎森永(株)（平成23年4月1日設立）を連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度において連結子会社であった森永フードサービス(株)は平成23年5月31日をもって当社保有全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

（2） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4） 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,992	8,946
受取手形及び売掛金	15,835	14,120
商品及び製品	5,439	8,006
仕掛品	402	585
原材料及び貯蔵品	4,646	4,972
繰延税金資産	1,874	1,732
その他	4,316	4,499
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	45,492	42,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,077	20,842
機械装置及び運搬具（純額）	10,233	10,082
土地	30,295	30,283
その他（純額）	4,895	5,516
有形固定資産合計	66,502	66,725
無形固定資産		
のれん	1,267	1,233
その他	470	464
無形固定資産合計	1,738	1,698
投資その他の資産		
投資有価証券	11,597	13,696
繰延税金資産	349	362
その他	1,448	1,347
貸倒引当金	△82	△83
投資その他の資産合計	13,311	15,322
固定資産合計	81,552	83,746
資産合計	127,045	126,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,033	14,749
短期借入金	806	524
未払金	7,993	7,967
未払法人税等	909	761
賞与引当金	2,001	1,229
その他	10,185	8,846
流動負債合計	34,930	34,078
固定負債		
長期借入金	23,141	23,115
繰延税金負債	2,326	2,709
退職給付引当金	6,754	6,506
役員退職慰労引当金	114	111
資産除去債務	121	122
受入敷金保証金	7,011	6,948
その他	799	722
固定負債合計	40,269	40,235
負債合計	75,199	74,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	16,470	16,105
自己株式	△2,458	△2,459
株主資本合計	49,811	49,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,082	2,813
繰延ヘッジ損益	5	△20
為替換算調整勘定	△544	△461
その他の包括利益累計額合計	1,543	2,330
少数株主持分	490	507
純資産合計	51,845	52,285
負債純資産合計	127,045	126,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	38,907	32,800
売上原価	19,832	16,462
売上総利益	19,075	16,338
販売費及び一般管理費	17,470	15,486
営業利益	1,605	851
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	271	273
持分法による投資利益	2	1
その他	77	100
営業外収益合計	354	377
営業外費用		
支払利息	75	68
その他	44	62
営業外費用合計	120	130
経常利益	1,839	1,098
特別利益		
固定資産売却益	1	16
関係会社株式売却益	—	978
貸倒引当金戻入額	7	—
その他	13	—
特別利益合計	21	995
特別損失		
固定資産除売却損	72	79
投資有価証券評価損	—	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	—
その他	2	—
特別損失合計	169	81
税金等調整前四半期純利益	1,691	2,012
法人税、住民税及び事業税	157	768
法人税等調整額	596	48
法人税等合計	754	816
少数株主損益調整前四半期純利益	936	1,195
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5	△4
四半期純利益	930	1,200

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	936	1,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△670	735
繰延ヘッジ損益	△48	△26
為替換算調整勘定	67	146
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△5
その他の包括利益合計	△665	850
四半期包括利益	271	2,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237	1,987
少数株主に係る四半期包括利益	34	59

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合 計	調 整 額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食 料 品 製 造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売 上 高								
外部顧客に対する売上高	32,986	4,952	819	38,759	148	38,907	—	38,907
セグメント間の内部売上高	833	289	31	1,153	249	1,402	△1,402	—
計	33,819	5,241	850	39,912	398	40,310	△1,402	38,907
セグメント利益	1,325	30	312	1,669	40	1,710	△105	1,605

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
- 2 セグメント利益の調整額 △105百万円には、セグメント間取引消去88百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △66百万円、のれん償却額 △34百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合 計	調 整 額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食 料 品 製 造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売 上 高								
外部顧客に対する売上高	30,030	1,891	756	32,678	122	32,800	—	32,800
セグメント間の内部売上高	229	144	79	453	216	670	△670	—
計	30,260	2,035	835	33,131	339	33,470	△670	32,800
セグメント利益	691	4	231	927	10	938	△86	851

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
- 2 セグメント利益の調整額 △86百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △70百万円、のれん償却額 △34百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。